

新大橋架換工事

富山縣土木課長

關 谷 新 造

本工事は富山縣に於ける第二期道路橋梁改良事業の一として、神通川の新大橋を架換るもので、橋梁の位置は左岸富山市鴨島、右岸は富山市安野屋町である。

設計の概要

橋種 ゲルバー式鋼鈹桁橋

橋體 橋長472米40、徑間39米00×9連、36米00×2連、24米00×2連。有効幅員16米00、内中央車道12米00（中央に單線軌道を敷設す）歩道片側2米00宛兩側、鐵筋コンクリート床版上にアスファルトブロックを以て鋪裝す。高欄は鑄鐵製格子。

橋臺 重力式平コンクリート造。

橋脚 12基、各鐵筋コンクリート圓型井筒3本を基礎とし、鐵筋コンクリート造。

取付道路延長 282米10。

工 程

神通川の増水頻繁なると工期短き關係上、湧水期を利用して4廳木製起重機8臺、6才練ミキサー6臺、8廳單胴ウインチ8臺を設備し橋脚6基を同時に施工した。鐵部架設には12廳木製起重機を用ひ、鉸結機3臺を使用した。昭和10年7月上旬現在に於て、下部工は完く竣工し鐵材架設は1部の鉸鈹を残すのみ、床版コンクリートは大半を了り、高欄取付中である。

工期及關係者

設計 富山縣土木課小池技師、近藤技師

施工 森技手、達摩技手、松山技手、兼島技手。

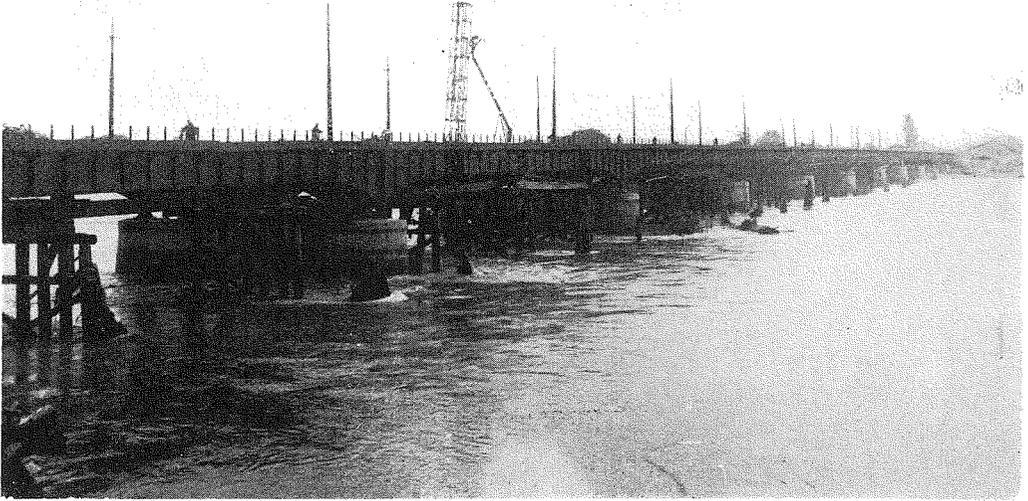
請負 鐵部製作は株式會社横河橋梁製作所、下部工事及鐵部架設は加藤金次郎氏。

起工 昭和9年3月。

竣工 昭和11年8月。

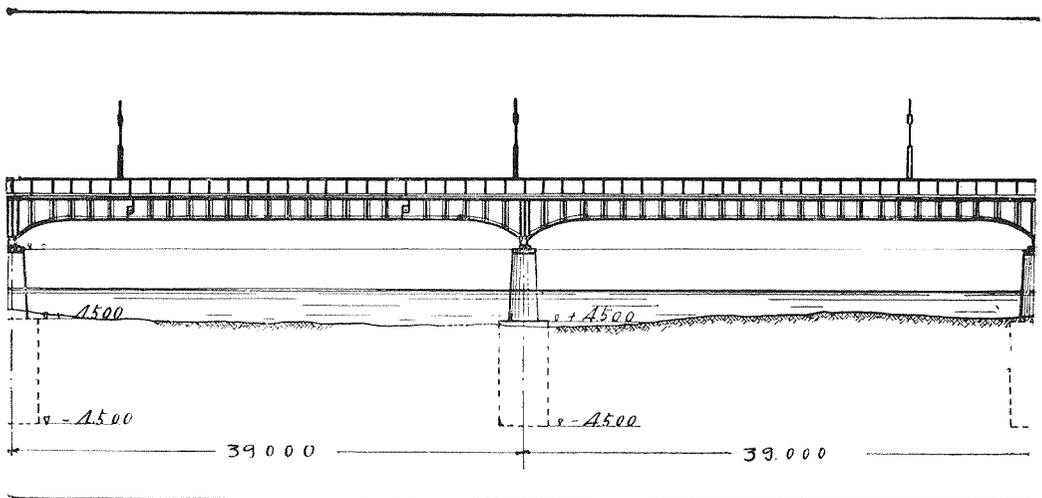
總工費 881,000圓。

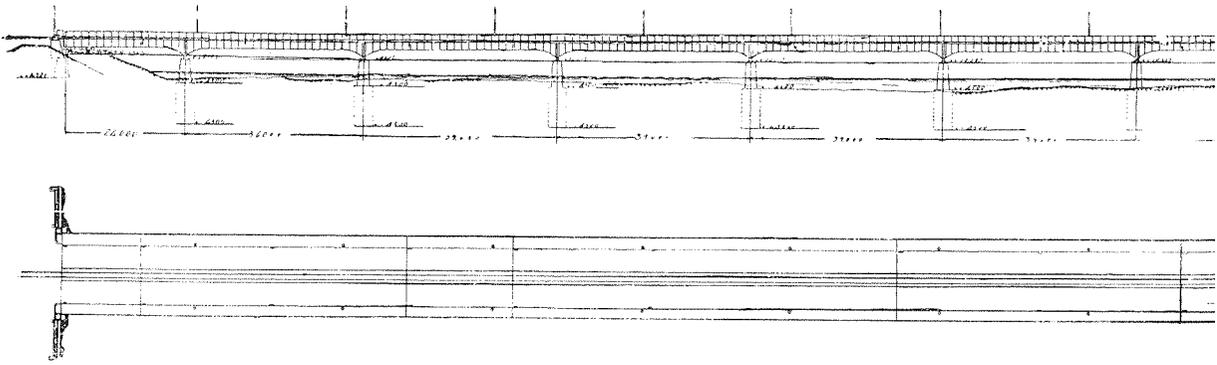
（北陸線富山驛下車省營バスにて新大橋詰下車）



〔 1 〕 左岸上流堤防より見たる新大橋。10年7月3日。

〔 2 〕 新大橋中央部附近側面圖。

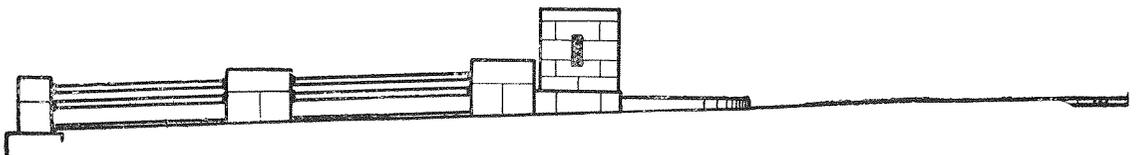


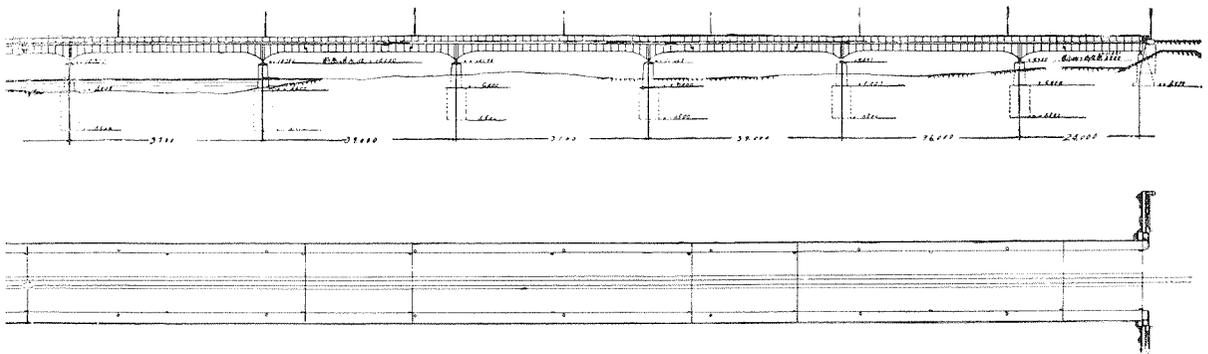


(3) 新大橋



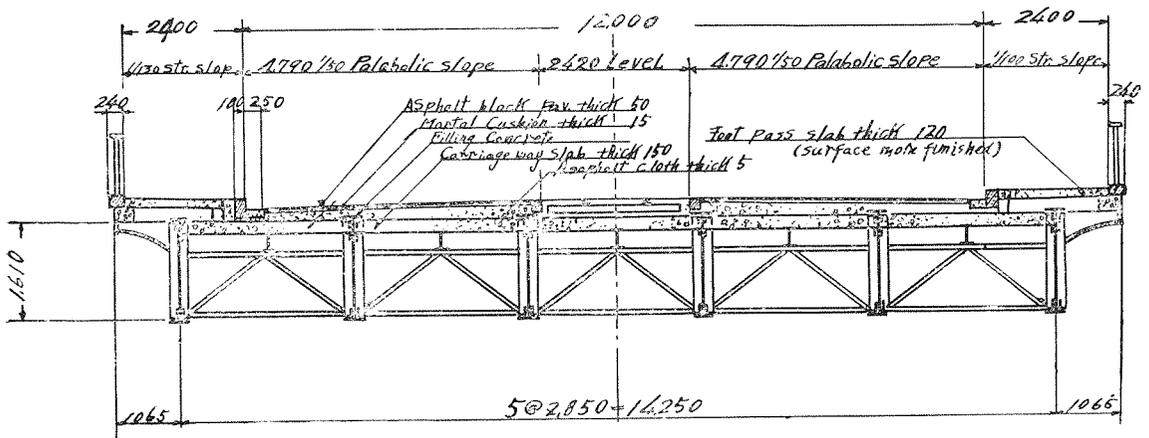
(4) 竣工近づきつゝある新大橋(10年7月3日)右岸流堤防上より望む。





一 破 圖。

〔5〕新大橋標準斷面圖。



〔6〕新大橋正面圖。

